**【　計画書の書き方　】**

**津波・地震による断水時における避難所等のトイレ対策について  
～富岡西高校をモデルにして～**

**タイトルはわかりやすく**

大＞中＞小のイメージで

副題はより細かいテーマ

読みたい！と思うものが◎

# １　はじめに（＊課題設定の理由）

テーマを設定した理由。社会状況や先行研究を挙げながら、研究の位置付けを論理的に説明する。

2024年１月１日，石川県能登半島を震源とするＭ7.6，最大震度７の地震が発生した。能登地方では家屋の倒壊が多く，発災直後から避難所が開設された。石川県によると，避難所は290カ所，9,914人が避難生活を送っている。また珠洲市や輪島市，穴水町，能登町，七尾市，志賀町ではほぼ全域で断水が続いている（2024年１月25日現在）。

最初は大きなテーマから。

社会の状況を踏まえて話を展開するとよい。

具体的な事例や数値があるとなおよい。

避難所において，衛生状態を保つことは最も重要な課題である。トイレの適切な管理はまず取り組まなければならない。排泄物における細菌により、感染症や害虫の発生が引き起こされるほか，トイレが不衛生であるために不快な思いをする被災者が増え、使用がためらわれることによって排泄を我慢することが、栄養状態の悪化や脱水症状等の健康障害を引き起こすおそれが生じることが内閣府からも指摘されている。

先行研究を挙げながら，その不足を指摘し，自分の研究テーマに向かって絞っていく

現在，富岡西高校はグラウンド，校舎，体育館が阿南市の避難所に指定されており，想定収容人数はそれぞれ10,157人，4,812人（最大），1,144人の合計16,113人である（阿南市，2021）。実際には校舎及び体育館に加えてグラウンドには自家用車で避難する場合が考えられるため，本探究活動では７～８千人が収容されると想定する。

引用

参考「○○によると…」

被災者支援の中で、避難生活におけるトイレの課題は、強い問題意識をもって捉えられるべきである。現状を把握することは適切な管理の基礎となり，更に本校においてどのような対策を行うべきかを考察することで，自助への意識付けや減災，更にはいち早い復興につながると考える。

定義づけをする。

どのような条件で研究するのかを書く。

**研究の意義**

この研究は社会においてどんな意味を持つのか。

意義は最後に書かなければいけないというわけではなく、分脈を考慮して適切な箇所へ入れる。

きちんと説明できることが大事。

# ２　探究の目的

1文で明瞭・簡潔に。

〜を明らかにする、と書く。

具体的に書けると◎。

本探究活動の目的は，地震・津波による災害時に，トイレを中心にして本校の避難所としてのキャパシティを明らかにすることである。具体的には，探究課題を，停電・断水時にどの程度本校の設備が使用できるかを明らかにすることとする。

研究課題に即して、一つずつ丁寧に書く。

他の人が同じことをしようとした時にできるように。

# ３　探究方法

本探究活動では，まず，校内のトイレの数及び種類の調査を行う。次に，停電及び断水時にタンク外からの給水（バケツなど）により使用可能かどうかを各メーカーや防災関係諸機関のデータから調査する。更にこれまでの災害での実態も合わせて分析し，考察する。

参考とする文献、調査対象者など、具体的なことが書けるように準備が必要。

# ４　探究計画

２月の年度末考査前まで調査を完了し，考査修了後に文献調査により分析を行う。分析後，結果をまとめ，報告書の作成を行う。

「引用」、「参考」した文献は、必ず明記する。

表記する内容はおもに、著者名、出版年、タイトル。

# ５　引用参考文献

* 富岡西高等学校（2023）「学校防災計画」
* 徳島新聞（2023）「非常用発電機　準備７割　断水時トイレも　それぞれ１０ポイント超増　２２年１２月時点　避難所指定の公立学校　徳島　いずれも９割近く」（2023年７月13日朝刊p.2）あわスタ（2024年１月31日最終閲覧）
* 阿南市（2021）「指定緊急避難所一覧」　[hinannbasho.pdf (city.anan.tokushima.jp)](https://www.city.anan.tokushima.jp/docs/2022010500033/file_contents/hinannbasho.pdf)（2024年１月25日最終閲覧）
* 石川県（2024）．令和６年（2024年）「能登半島地震に関する情報」　[令和6年（2024年）能登半島地震に関する情報 | 石川県 (ishikawa.lg.jp)](https://www.pref.ishikawa.lg.jp/saigai/202401jishin.html)（2024年１月25日最終閲覧）

**【　報告書の書き方　】**

|  |
| --- |
| タイトル  HRNo.　　　　　氏名  **１　はじめに（＊課題設定の理由）**  **２　目的・方法**  **３　調査研究内容**  （１）〔例〕富岡西高等学校内のトイレの数と種類について  （２）〔例〕発災（地震・津波）後のトイレの利用について  （３）〔例〕東日本大震災，熊本地震および能登半島地震での例  **４　考察**  ・調べたこと（集めたデータ）からわかったこと  **データ（Word等）で提出する場合**  ・体裁：A4・45文字×40行に設定すること  ・分量：A4 １枚以上  **手書きで提出する場合**  ・分量：所定の罫紙（A4） ２枚以上  〆切 … **3/13（水）**  ・よりよい解決策など  **５　おわりに（＊感想）**  **６　引用参考文献** |

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| 探究活動計画書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　HRNo.　　　　　　　　　氏名 | |
| テーマ： | |
| １　課題設定の理由 |  |
| ２　探究活動の目的 |  |
| ３　探究方法 |  |
| ４　探究計画 |  |
| ５　引用参考文献（予定） |  |